

スラブ配置に失敗する例

(株)構造システム 構造系サポート

FAX : 03-3235-5799

e-mail : bus-support@kozo.co.jp

・質問

BUS-3 にて図 1 のような伏図へ B—D 通り間、2 - 4 通り間だけにスラブ配置を行うつもりでスラブ配置を行うと前面に同じスラブ番号が表示されます。

不要な部分を一部削除 (例 : A - B 通り間、1 - 2 軸間) しようとするすると全部のスラブが削除されます。

どうすればよいですか。

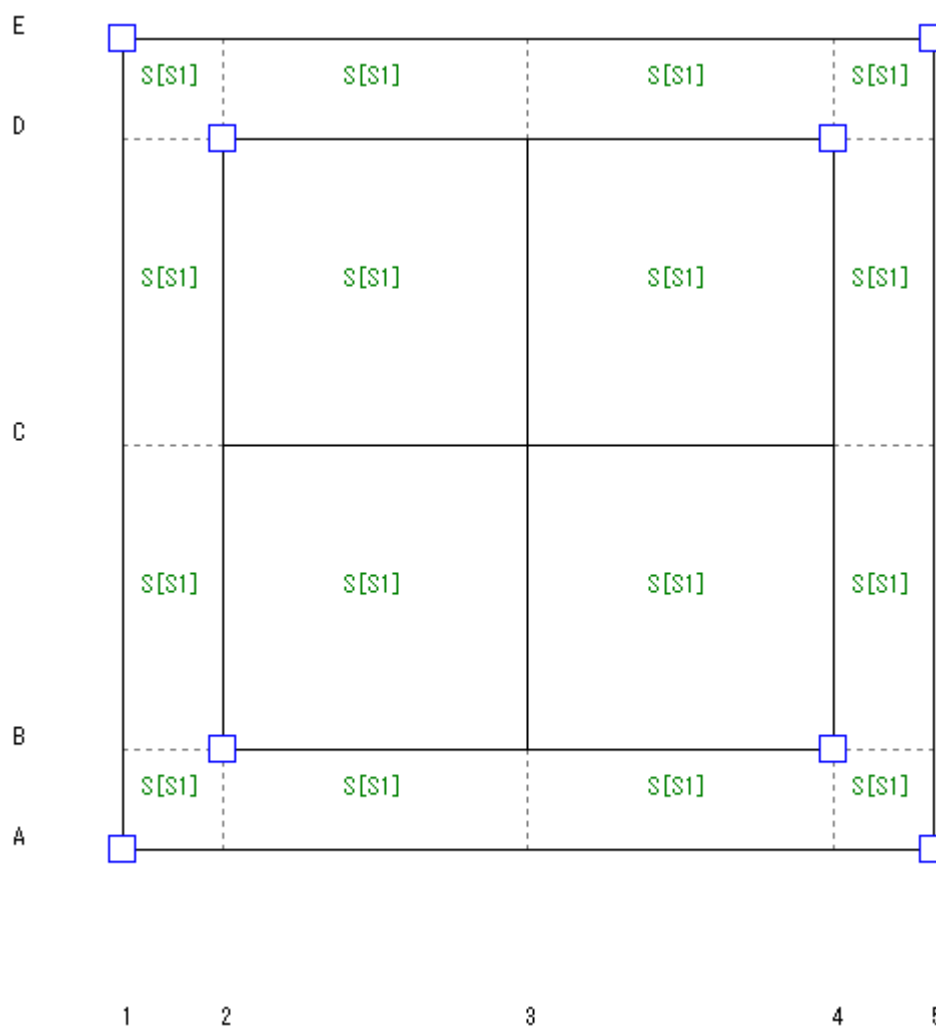


図 1

・ 回答

スラブ配置前に該当位置がスラブ配置可能な矩形領域であるかチェックを行っています。
上記のような伏図形状の場合、最外周部のスラブ配置領域（A - E 通り間、1 - 5 通り間）が最初にチェックされるスラブ配置可能領域と判断されます。

このためプログラムはすべての領域に同じスラブ名称を配置します。

ご質問にあるようなスラブ配置とするには、つぎの ~ の手順で作業を行ってください。

B 通りと D 通りの 1 軸、4 軸に任意のはり部材を配置、2 通りと 4 通りの A 軸、D 軸に任意のはり部材を配置します。（図 2）

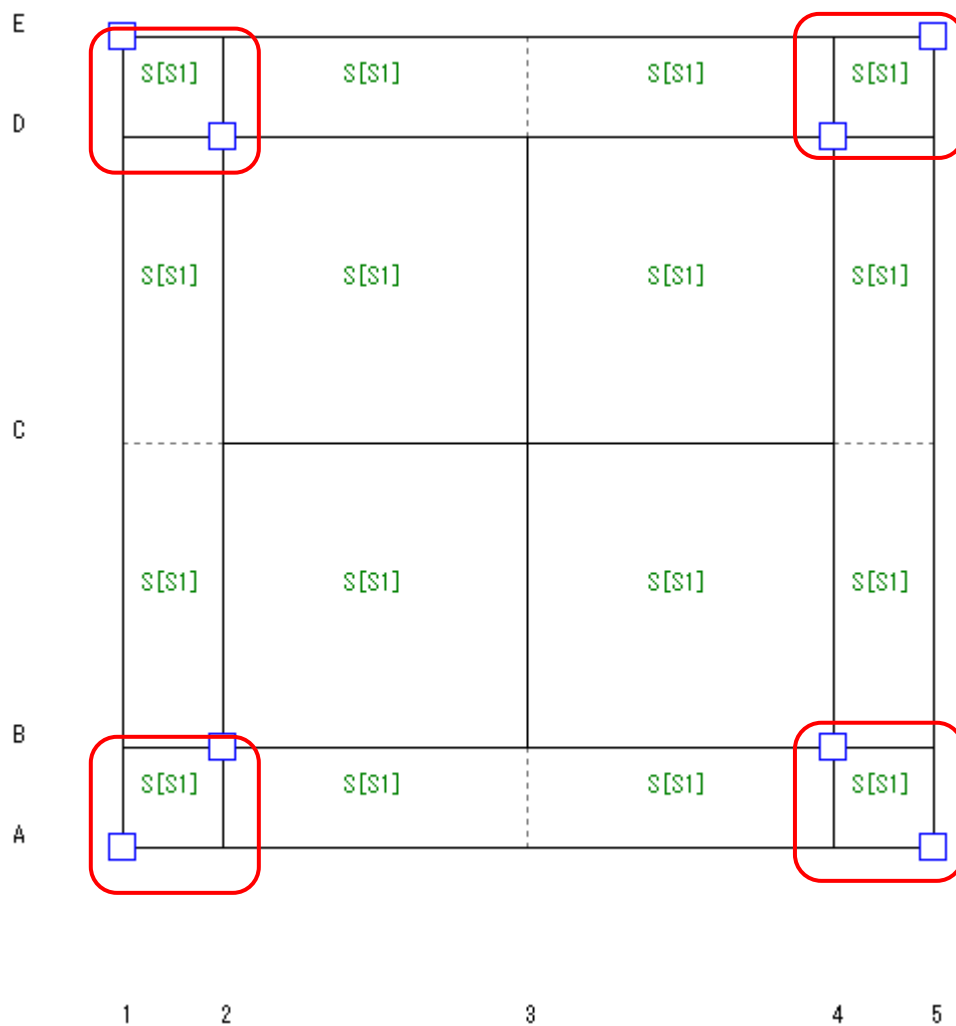


図 2

削除したい床部材を削除します。
はり部材の追加配置により、スラブ配置矩形領域が細かく分断されますので、安全にスラブ削除が行われます。(図3)

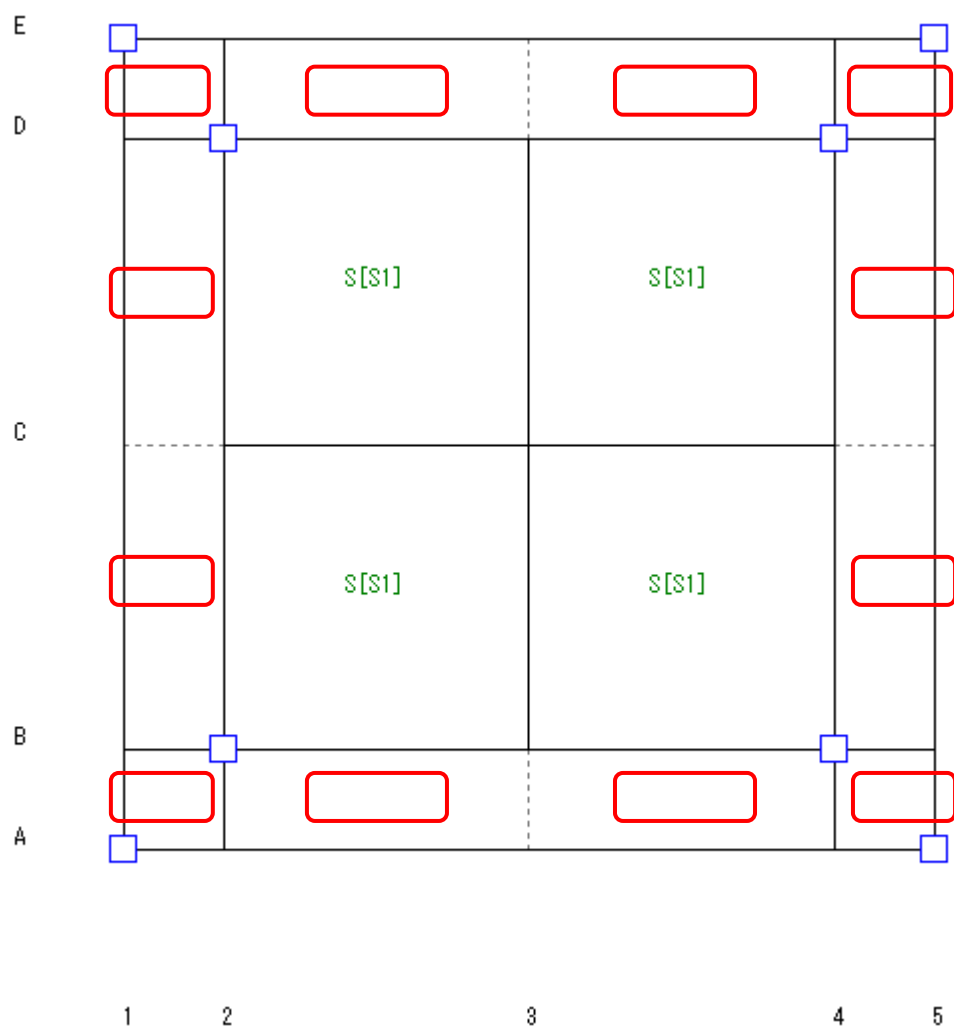


図 3

追加されたはり部材は実際の計算に不要なので、ダミーはりの指定（ ）を行います。
ダミーはりの指定状態とするには、つぎのメニュー項目を選択します。
[データ入力] → [応力計算データ] → [ダミーはりの指定]
つぎに、追加されたはり部材を順次選択して図4の状態とします。

ダミーはりで指定された部材は計算には考慮されません。

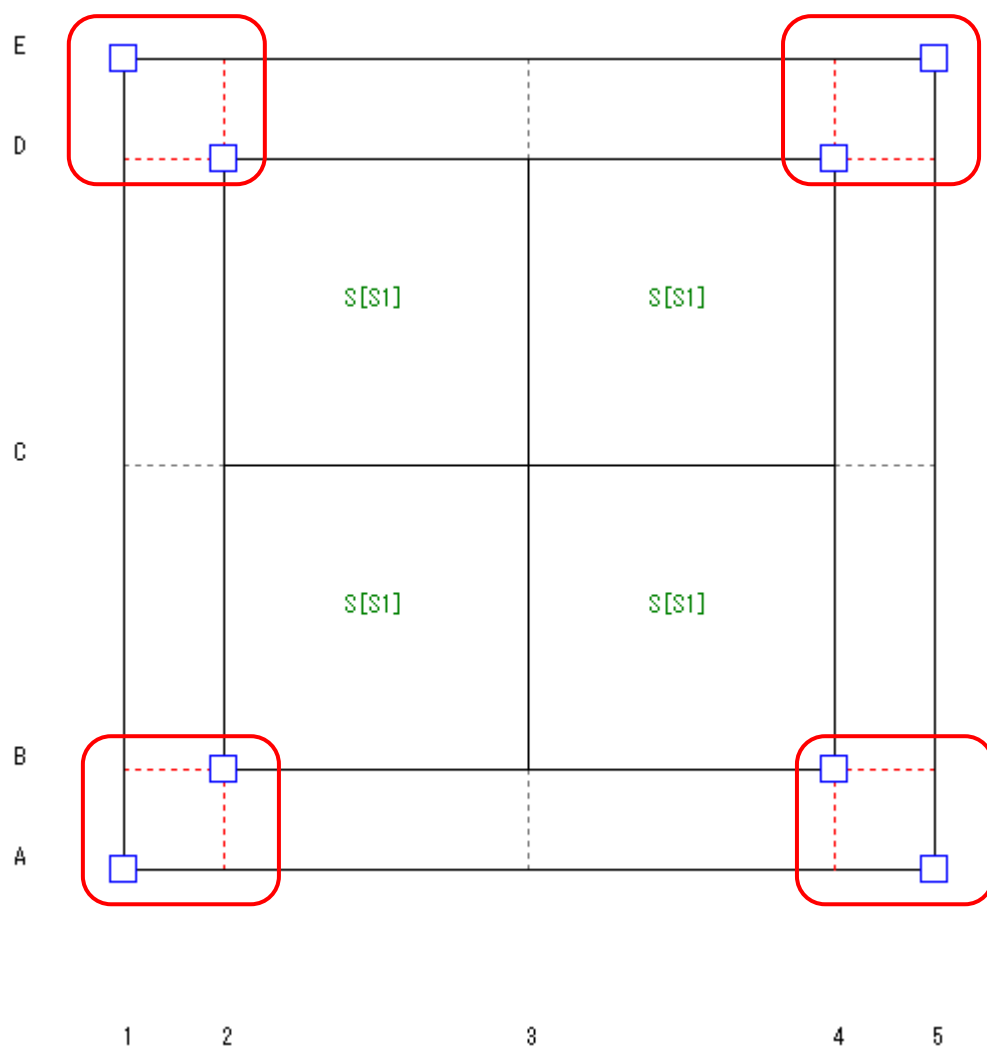


図 4